

名古屋大学理学部における学習について

これから大学で勉学を進めるに当たっては、まず履修計画を立てることが必要です。配布した**全学教育科目履修の手引**、**全学教育科目授業時間割（A表およびB表）**、**シラバス**および**本便覧**を参照して履修計画をたててください。

1. クラス編成と学期

理学部の学生は、1，2年次の間、理－1～理－12クラスのいずれかに属することになります。各クラスの1年次における指導教員（クラス担当）一覧はガイダンス時に配布します。クラス担当は、必ずしも諸君が志望する学科の教員ではないかもしれませんが、学習、研究、学資のような個人的なことなどがらなどについて、何でも遠慮なく相談してください。2年次では、入学時に決められたクラスは存続しますが、各クラスにクラス担当はおきません。諸君が分属した学科（第3項参照）の教室主任がクラス担当として相談にのることになります。各自がどのクラスに所属するかはガイダンスの際に分かります。

学部の課程を修了するまでに普通は4年間を要するので、この間に8つの学期が含まれることになります。これを1年次の春学期から通し番号をつけて次のように呼んでいます。

また本学では、セメスター（2学期）に加え、クォーター（4学期）で授業が実施できるよう学期を設定しています。学年（年度）を春学期・秋学期の2つに分けた上で、さらに各期の授業期間を2つに分け、前半を春1期・秋1期、後半を春2期・秋2期とします。

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII

(注)期の順番を表す数字は常にローマ数字を使用しています。

2. 進級要件について

理学部では1年次における修得単位数が20単位に満たない学生については、2年次への進級を認めません。この「20単位」には、1年次に開講される全学教育科目及び理学部専門系科目のすべての科目が対象になります。

修得単位数が20単位未満の学生は、進級することはできないので、学科分属（第3項参照）を行うことができません。もう一度1年次生として、1年次のカリキュラムを履修してください。

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。 ただし、随意科目及び教職科目は20単位に含まれない。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 (在学年限(8年)－2～4年次の年数(3年)) ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

3. 学科分属について

理学部では、1年次の間ほどの学科にも属さず広くいろいろな教科を学習することになっています。2年次からは特定の学科（数学科、物理学科、化学科、生命理学科、地球惑星科学科）に属し、主にそこの専門教育を受けることになります。これを「学科分属」といいます。11項の(8)、(9)で述べるように学科によって1年次の内に特定の専門基礎科目と自然系基礎科目を履修することが要求されて

いますので特に注意してください。また、地球惑星科学科へ進学する学生は、4年次で地球惑星科学特別研究（卒業研究）を履修するまでに、原則として専門系科目の必修科目と選択科目及び全学教育科目の必要単位数のすべてを履修しておくことが要求されます。

学科分属に際して各学科が受け入れることができる学生数は、学生定員に応じて教員の数や教室、実験室の広さが決まっていることから限度があります。このため志望者が定員を超過したときあるいは定員を下回ったときには何らかの調整を行うこととなります（1年次における専門基礎科目、自然系基礎科目などの履修状況や成績が参考とされたり、特定の科目の試験や面接が行われたりすることがあります。）。

なお、学科分属の際に第一志望の学科に分属されなかった学生に対して、「再分属制度」があります。

再分属の選考の際には、既修得単位のほかに、再履修をした自然系基礎科目の成績も加味することも可能です。そのため、あらかじめ指定した理学部向け自然系基礎科目のうち、一般学生の履修登録後、受講生数にゆとりがある科目について再履修を許可しますので、理学部教務学生係から「再履修願」をもらってください。

詳細については、1年次の分属ガイダンスにてお知らせします。

4. 授業科目と卒業要件単位数について

名古屋大学理学部在学中に受講する科目は、全学教育科目及び学部科目です。全学教育科目には、共通基礎科目、自然系基礎科目、国際理解科目、現代教養科目及び超学部セミナーがあります。全学教育科目は、専門を越えた広い視野を養うための科目で全学の教員が分担して担当しています。その科目表は、**全学教育科目履修の手引**の中にくわしく記されています。学部科目は専門基礎科目及び専門科目で、これは理学部の教員が担当します。2年次までに開講される専門科目と専門基礎科目は卒業するうえでは重要な科目ですので特に注意してください。

卒業するためには全学教育科目および学部科目の所定の単位数を履修することが必要です。卒業要件単位数は分属する学科によって異なります。

全ての科目は必修科目、選択必修科目及び選択科目に分類できます。必修科目は必ず修得すべき科目、選択必修科目は指定された科目の中から所定の単位数を修得すべき科目です。さらに諸君の要求に応えるよう幅広く用意されているのが選択科目です。各自が専攻しようとする学科の卒業要件単位数を考慮し、履修計画を立ててください。

全学教育科目のうち自然系基礎科目は、学部科目の基礎となる科目で、学科によっては一部必修、又は選択必修となっていますから注意してください。

5. 履修取り下げ制度について

本学では授業科目の成績評価に際して、「W（欠席）」と「F（不合格）」の扱いをより厳格に取り扱うため、履修登録を行ったが、何らかの事情により学期途中で履修する意思がなくなった科目について、学生から意思表示ができるよう、所定の期限までに授業担当教員へ履修を取り下げの旨の届けをする履修取り下げ制度を導入しています。

授業担当教員に履修取り下げの意思を示した場合、成績評価の際、「F（不合格）」ではなく「W（欠席）」となります。

なお、個々の授業科目の「W」と「F」の扱いについて、及び履修取り下げの際に「履修取り下げ届」の提出を必要とするかどうかについては、各授業科目のシラバスを確認してください。

「履修取り下げ届」の提出を必要とする場合、様式は理学部HPでダウンロードし、必要事項を記入の上、春学期は5月末までに、秋学期は11月末までに授業担当教員に提出してください。ただし、個々の授業の事情により提出期限が異なる場合がありますので、授業担当教員に確認してください。

6. 履修登録単位数の上限設定（キャップ制）について

名古屋大学では、2022年度以降学部入学者について、履修登録単位数の上限設定（キャップ制）を実施しています。理学部では、履修科目として登録できる単位数の上限は、年間65単位です。なお、以下の除外科目については65単位に含まれません。

- ・教員免許状取得に関する科目（卒業要件単位数に算入する「教科に関する専門的事項」に係る科目を除く。）
- ・集中講義科目
- ・単位互換他大学科目（海外、オンラインを含む）
- ・外国語検定試験認定科目
- ・入学前の既修得単位認定科目
- ・特別履修科目
- ・所属学科の指定する科目（所属学科の卒業要件単位数表を参照してください）

また、優れた成績の学生に対しては、上限の緩和措置を実施します。理学部における緩和の条件は、「前年度の取得単位のうち、A+またはAが80%以上」であることです。

7. 成績評価について

理学部専門系科目の成績は、「A+」、「A」、「B」、「C」、「C-」、「F」の区分で評価します。「A+」、「A」、「B」、「C」、「C-」は合格で、所定の単位が与えられます。「F」は不合格で、単位は与えられません。

8. 成績評価に関する問い合わせ

成績評価に関して、疑義が生じた場合は、授業担当教員へ問い合わせることができます。成績が発表された日から3日以内に、担当窓口（全学教育科目については教養教育院事務室、専門系科目については理学部教務学生係）へ「成績評価照会票」（様式は名古屋大学ポータル学務タブ内の“お知らせ”からダウンロードできます。）を提出してください。

なお、成績評価が記載されていない科目についても、直接上記担当窓口までお問い合わせください。

9. 試験時における不正行為について

試験の際、不正行為を行ってははいけません。

万一、不正行為のあったときは、「名古屋大学学生の懲戒等に関する規程」により、何らかの措置（当該学生の当該学期に認定される全授業科目の単位をすべて無効とする等）を決定します。

10. 父母等による成績確認について

名古屋大学では、学生への充実した修学指導の一環として、大学が連帯保証人と連携して学生への指導助言を行うため、入学時にWeb入学手続きシステムで「父母等による成績確認」に同意いただいた場合、入学以降の累計の成績を確認いただくことが可能です。

11. 授業時間割と履修計画について

全学教育科目履修の手引、全学教育科目授業時間割（A表及びB表）並びに理学部各学科の専門基礎科目の時間割を参照しつつ履修計画を立ててください。

以下、各科目ごとの注意事項を記します。

- (1) 「大学での学び」基礎論
「大学での学び」基礎論は、Ⅰ期に開講されます。1年生の場合、履修登録は自動で行われます。
- (2) データ科学科目
データ科学科目は、Ⅰ期（データ科学基礎）及びⅡ期（データ科学基礎演習B）に開講されます。1年生の場合、履修登録は自動で行われます。
- (3) 健康・スポーツ科学科目
全学教育科目時間割（B表）の対象学部・クラス欄に**理**と記してあるすべての授業を選択履修できます。もしこれ以外の授業を履修したいときには、受講を認められることもありますから、希望を申し出てください。
- (4) 言語文化科目
英語については、学部別および習熟度別（入学時に実施するプレイスメントテストの成績による）で受講すべき授業が決まっています。**全学教育科目授業時間割表（B表）**を参照して、指定された授業を受講してください。
英語以外の外国語としてⅠ期に開講される「多言語修得基礎」（1単位）を必ず受講してください。
- (5) 基礎セミナー
基礎セミナーは、Ⅰ期に開講されます。必修のため、**全学教育科目時間割（B表）**の対象学部・クラス欄の指示にしたがって、必ず受講してください。1クラスの人数が制限されますから必ずしも希望する授業を受講できないかもしれません。希望する授業を複数選んで、希望順位を決めておいてください。
- (6) 教養科目（国際理解科目，現代教養科目，超学部セミナー）
超学部セミナーは3・4年次に開講されます。
- (7)アントレプレナーシップ科目
アントレプレナーシップ科目は、Ⅱ期（アントレプレナーシップ初歩）に開講されます。必修のため、**全学教育科目時間割（B表）**の対象学部・クラス欄の指示にしたがって、必ず受講してください。
- (8) 自然系基礎科目
自然系基礎科目の履修にあたっては、志望する学科の卒業要件によく注意してください。例えば、数理学科に所属した場合は微分積分学Ⅰ，Ⅱ，線形代数学Ⅰ，Ⅱ及び複素関数論が必修，物理学科に所属した場合は物理学基礎Ⅰ及び電磁気学Ⅰ，Ⅱが必修です。さらに分属する学科によっては、以下に示すように特定の授業を履修することが望まれています。これらの授業を履修しない場合は、分属の時に不利になることがありますから注意してください。
また、自然系基礎科目は対象学部によって内容が異なりますので、必ず**全学教育科目授業時間割表（A表およびB表）**を確認の上、理学部対象の自然系基礎科目を履修してください。他学部を対象とする自然系基礎科目については卒業要件となりません。

【数理学科志望の学生】

将来、数理学科を志望する学生は、次の授業を履修することが必須です。

1年春学期（Ⅰ期）	木曜4限	線形代数学Ⅰ
	水曜2限	微分積分学Ⅰ
1年秋学期（Ⅱ期）	月曜3限	線形代数学Ⅱ
	金曜1限	微分積分学Ⅱ

また、1年の数学演習，数学展望を選択することを望みます。

【物理学科志望の学生】

将来、物理学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1年春学期（Ⅰ期）	火曜3・4限	物理学実験
	水曜1限	物理学基礎Ⅰ（必修科目）
1年秋学期（Ⅱ期）	火曜3限	電磁気学Ⅰ（必修科目）

【化学科志望の学生】

将来、化学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1 年春学期（Ⅰ期） 月曜 3 限 化学基礎Ⅰ

1 年秋学期（Ⅱ期） 月曜 4 限 化学基礎Ⅱ

【生命理学科志望の学生】

将来、生命理学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1 年春学期（Ⅰ期） 木曜 3 限 生物学基礎Ⅰ

1 年秋学期（Ⅱ期） 月曜 1 限 生物学基礎Ⅱ

【地球惑星科学科志望の学生】

将来、地球惑星科学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1 年春学期（Ⅰ期） 木曜 4 限 線形代数学Ⅰ

1 年春学期（Ⅰ期） 水曜 2 限 微分積分学Ⅰ

1 年春学期（Ⅰ期） 水曜 1 限 物理学基礎Ⅰ

(9) 専門基礎科目

1 年次の間にいくつかの専門基礎科目が開講されます。時間が許す限りこれらの授業を幅広く履修することを望みます。

1 年春学期（Ⅰ期） 数学演習Ⅰ・数学展望Ⅰ・現代物理学序論Ⅰ・地球惑星科学の最前線・最先端化学

1 年秋学期（Ⅱ期） 数学演習Ⅱ・数学展望Ⅱ・物理学基礎演習Ⅰ・生命理学特別講義Ⅰ／Ⅱ

このうち数理学科へ分属を希望する学生は、数学演習Ⅰ、Ⅱ及び数学展望Ⅰ、Ⅱを、物理学科へ分属を希望する学生は現代物理学序論Ⅰ及び物理学基礎演習Ⅰを受講することを強く希望します。

(10) プレセミナー

理学部独自の制度として“プレセミナー”があります。これは卒業要件単位数には取り扱われませんが、各学科の教員と大学院生を中心として学科の紹介をかねた簡単なテーマの下に約半年間行われるセミナーです。具体的な内容は4月になって示されます。学科分属など自分の将来を決める一つの大きな材料となるべきものですから積極的な参加を望みます。

12. 履修手続きについて

全学教育科目については教養教育院事務室が、理学部専門系科目については理学部教務学生係が事務を担当しています。履修手続きについては、それぞれが指定する期日を必ず遵守するようにしてください。

科目区分の内容

科目区分		内 容	
専 門 系 科 目		各学科の専門の学術を学習する科目。入門的、基礎的科学と中核的な専門科目及びこれと関連する専門科目で構成される。専門系科目を専門科目、専門基礎科目に分類し、初年次から系統的な専門教育を行う。	理学部専門系科目
専 門 科 目		学科の専門系科目のうちの、最も中核的な授業科目（卒業論文又は卒業研究を含む）。学生が将来大学院で更に高度な専門教育を受けたり、当該専門分野の技術者・研究者となるために必要な知識と考え方を教育する。主として2年次以降開講される。	
専 門 基 礎 科 目		学科において開講される専門科目、関連専門科目等を理解するのに必要な、専門に直結した基礎教育科目。	
共 通 基 礎 科 目		「自立した主体的学び」へと学習姿勢を転換し、よりよい未来社会を構築しそれを担う「勇気ある知識人」となるために、すべての学生が専門分野によらず共通に身につけるべき基礎的素養（汎用力・課題発見／解決力）を育む。	全学教育科目
「大学での学び」基礎論		大学とは何か、大学で学ぶとはいかなることか、大学での学びを充実したものにするにはどのような知恵が必要かについて理解し、主体的な学習者としての態度の核を形成する。	
基礎セミナー		少人数のセミナー形式による多面的な知的トレーニングを通じて、真理探究の面白さに触れるとともに、主体的な学びに必須の「調べ、考え、書き、話す」能力を涵養する。	
言語文化科目	英 語	学問の世界の共通言語、かつ国際社会で活躍するために必須の言語である英語によるコミュニケーション能力を高め、世界に通ずる窓を開く。	
	初修外国語	英語以外の外国語の学修を通して、多様な異文化に対する理解と寛容性を身につけ、国境を越えてよりよい未来社会の構築をめざして協同するために必須の複数外国語運用能力の基礎を築く。	
	日 本 語	日本語の能力を高め、日本の文化と社会に対する理解を深めることにより、留学生活における主体的学びのための基礎能力を身につける。	
健康・スポーツ科学科目	講 義	健康に関する知識と自己管理能力及び運動・スポーツ習慣の必要性など、生涯スポーツの基礎となる知識を習得する。	
	実 習	スポーツの実践を通して、運動・スポーツの楽しさを味わい、運動習慣獲得の基礎となる技能、コミュニケーション能力とリーダーシップ、チームワーク形成能力を身につける。	
データ科学科目		社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識と汎用的な分析技能を獲得する。	
アントレプレナーシップ科目		アントレプレナーシップを学ぶことを通じて、社会変化によって生じた課題を迅速に捉え、知識を知恵に変え解決法を導く意識や、社会で必須となる組織的行動の重要性を学ぶ。	

教 養 科 目	教養ある「勇気ある知識人」として専門知を人類社会の問題解決に活用し幸福な未来を構築していく。そのために重要な資質である「異分野・異文化に開かれた態度」「分野を超えた幅広い知識への関心」及び「自己とその専門分野を相対化する視点」を獲得する。	全 学 教 育 科 目
国 際 理 解 科 目	「異文化との出会い」を契機に、世界には多様な価値観があることを認識し、近現代の国際関係に関する知識と事項の文化に関する知識を身につける。これを通じて、自らの主張を展開する力と文化的社会的な寛容性とを兼ね備えた、国際社会で活躍しうる人間に成長するための基礎を築く。	
現 代 教 養 科 目	現代社会が抱える課題の理解を踏まえ、その課題に対する学際的・総合的分析能力を養うとともに、目指す専門分野と他分野との関連性を理解することによって、専門知の社会的役割を認識し、自らの専門分野を相対化する視点を身につける。	
超 学 部 セ ミ ナ ー	自らの目指す専門性が自覚された学部3～4年次において、異なる分野を学ぶ学生が学部・学年を超えたチームを組み、自主的に設定した課題の解決のためにみんなで考え力を合わせる主体的経験を共有する。これを通じ、リーダーシップとチームワーク、異分野への開かれた態度、多様な人々の協調による課題解決能力を身につける。	
分 野 別 基 礎 科 目	専門分野の学習の基盤となる最も基礎的な知識と技能を身につける。	
自 然 系 基 礎 科 目	自然科学系の専門分野を学んでいく基盤として、それぞれの分野における学問体系を理解し、最も基礎的な知識と技能を身につける。	

13. コースナンバリングについて

本学ではカリキュラムの体系性を明示し、海外大学との単位互換等において、どの学年、もしくはどのレベルの科目かなど、科目の位置付けを明確にすることで、カリキュラムの国際通用性を高めるために全ての科目に10桁の英数字を付しています。

理学部系専門科目のコースナンバリング構成は、以下のとおりです。

理学部系専門科目のコースナンバリング一覧は、名古屋大学理学部ホームページ (<http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/education/index.html>) に掲載しています。

理学部授業科目のコースナンバリング



①部局名: SCI (Science)

②分野区分

MA	数理学科
PH	物理学科
CH	化学科
BI	生命理学科
EP	地球惑星科学科
OT	その他(教職科目など)

③レベル

番号	全学基準	理学部基準
0	全学教育(基礎レベル)	—
1	全学教育(発展的レベル)	—
2	学部専門科目(基礎的レベル)	学部1・2年向け専門科目
3	学部専門科目(発展的レベル)	学部3年向け専門科目
4	学部専門科目(卒業研究等)	学部4年向け専門科目
5	大学院前期課程科目(基礎的レベル)	—
6	大学院前期課程科目(発展的レベル)	—
7	大学院後期課程科目	—
8	その他(教職科目など)	その他(教職科目など)

④中分類

番号	内容
0-5	講義科目(講義、講義及び演習、講義及び実験)
6-9	講義以外の科目(演習、実験、セミナー等)

⑤連番: 科目ごとに付番される固有番号

⑥使用言語: 授業で使用される言語

記号	言語
J	日本語
E	英語
B	日英2言語併用
O	その他の言語

専門基礎科目授業時間割〔1年次〕

I 期

時限 曜	1	2	3	4	5
水				最先端化学 (化学科教員) 南館坂田・平田ホール 0644700	
金				数学展望 I (白水 徹也) 多元数理科学棟 509 0613100	数学演習 I (中島 他) 教室は追って通知する 0613400
				現代物理学序論 I (谷山・田村・野口・飯嶋) 南館坂田・平田ホール 0628000	
			地球惑星科学の 最前線 (額瀨 佑衣) 南館坂田・平田ホール 0665010		

集中講義	地球環境セミナー (開講せず) 0665100
------	-------------------------

II 期

時限 曜	1	2	3	4
水		数学演習 II (川村他) 教室は追って通知する 0613500	数学展望 II (加藤 淳) 多元数理科学棟 509 0613200	
	物理学基礎演習 I (小林晃) B 5 講義室 (理学部 B 館 5 階) 0628200 (クラス 1~6) (田村) C 5 講義室 (理学部 C 館 5 階) 0628201 (クラス 7~12)			
		秋 1 期 生命理学特別講義 I (廣田 毅) 坂田平田ホール 0657000 秋 2 期 生命理学特別講義 II (西村 浩平) 坂田平田ホール 0657100		

2年次までに開講される専門科目と専門基礎科目

区分	授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別			
					開講時期	必修・選択		
数 理 学 科	専 門 科 目	現代数学基礎 A II	0615210	講 義	4	2年 秋学期	必 修	
		現代数学基礎 B II	0615110	講 義	4	2年 秋学期	必 修	
		現代数学基礎 C II	0610210	講 義	4	2年 秋学期	必 修	
		現代数学基礎 C III	0614820	講 義	4	2年 秋学期	必 修	
		数 学 演 習 V	0613530	演 習	2	2年 秋学期	必 修	
		数 学 演 習 VI	0613540	演 習	2	2年 秋学期	必 修	
		計 算 数 学 基 礎	0613310	講義及び演習	3	2年 秋学期	選 択	
	専 門 基 礎 科 目	数 学 展 望 I	0613100	講 義	2	1年 春学期	選 択	
		数 学 演 習 I	0613400	演 習	2	1年 春学期	選 択	
		数 学 展 望 II	0613200	講 義	2	1年 秋学期	選 択	
		数 学 演 習 II	0613500	演 習	2	1年 秋学期	選 択	
		現代数学基礎 A I	0610110	講 義	4	2年 春学期	必 修	
		現代数学基礎 B I	0615410	講 義	4	2年 春学期	必 修	
		現代数学基礎 C I	0615310	講 義	4	2年 春学期	必 修	
		数 学 演 習 III	0613510	演 習	2	2年 春学期	必 修	
		数 学 演 習 IV	0613520	演 習	2	2年 春学期	必 修	
	物 理 学 科	専 門 科 目	先端物理学特論	0631300	講 義	1	2年 春学期	選 択
			物 理 実 験 学	0623400	講 義	2	2年 秋学期	選 択
情報科学概論 I			0623700	講 義	2	2年 秋学期	選 択	
情報科学概論 II			(α)0623800 (β)0623801	講 義	2	2年 秋学期	選 択	
専 門 基 礎 科 目		現代物理学序論 I	0628000	講 義	2	1年 春学期	選 択	
		現代物理学序論 II	0628100	講 義	2		選 択	
		物理学基礎演習 I	0628200 0628201	演 習	1	1年 秋学期	選 択	
		物理学基礎演習 II	0628300 0628301	演 習	1		選 択	
		力 学 特 論	0631400	講 義	2	2年 秋学期	選 択	
		力学特論演習	0631500	演 習	1	2年 秋学期	選 択	
		解 析 力 学	0631600	講 義	2	2年 春学期	必 修	
		電 磁 気 学	0628610	講 義	2	2年 秋学期	必 修	
		量 子 力 学 I	0628800	講 義	2	2年 秋学期	必 修	
		統計物理学 I	0628900	講 義	2	2年 秋学期	必 修	
		数理物理学 I	0629000	講 義	2	2年 春学期	必 修	
		数理物理学 II	0629100	講 義	2	2年 春学期	必 修	
		解析力学演習	0631700	演 習	1	2年 春学期	必 修	
		電磁気学演習	0631800	演 習	1	2年 秋学期	必 修	
		電磁気学 II 演習	0631900	演 習	1	2年 春学期	必 修	
		量子力学 I 演習	0632000	演 習	1	2年 秋学期	必 修	
統計物理学 I 演習	0632100	演 習	1	2年 秋学期	必 修			
数理物理学 I 演習	0632200	演 習	1	2年 春学期	必 修			
数理物理学 II 演習	0632300	演 習	1	2年 春学期	必 修			

区分	授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別		
					開講時期	必修・選択	
化学 科学 科目	専門科目	無機化学実験Ⅰ		実験	2	2年 秋学期	必修
		生物化学実験Ⅰ		実験	1	2年 秋学期	必修
		物理化学実験Ⅰ		実験	2	2年 秋学期	必修
	専門 基礎 科目	物理化学基礎	0642600	講義	2	2年 春学期	選択必修
		分析化学Ⅰ	0642700	講義	2	2年 春学期	選択必修
		分析化学Ⅱ	0642800	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		無機化学Ⅰ	0642900	講義	2	2年 春学期	選択必修
		無機化学Ⅱ	0643000	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		無機化学Ⅲ	0643020	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		有機化学Ⅰ	0643100	講義	4	2年 通年	選択必修
		有機化学Ⅱ	0643110	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		物理化学	0643300	講義	4	2年 通年	選択必修
		量子化学Ⅰ	0643400	講義	4	2年 通年	選択必修
		生物化学Ⅰ	0643600	講義	2	2年 春学期	選択必修
		生物化学Ⅱ	0643700	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		化学講究Ⅰ	0643800	講義と演習	2	2年 春学期	必修
		化学講究Ⅱ	0643900	講義と演習	2	2年 春学期	必修
		最先端化学	0644700	講義	2	1年 春学期	選択
生命 理学 科学 科目	専門科目	生物科学実験Ⅰ	0650100	実験	2	2年 春学期	必修
		生物科学実験Ⅱ	0650200	実験	2	2年 秋学期	必修
		生物科学実験Ⅲ	0650300	実験	2	2年 秋学期	必修
		生物科学実験法及び実験Ⅵ	0650600	実験及び講義	2	2年 秋学期	必修
		生物科学実験法及び実験Ⅶ	0650700	実験及び講義	2	2年 秋学期	必修
		分子生理学Ⅱa	0651931	講義	1	2年 秋2期	選択
		生物物理学Ⅰa	0651211	講義	1	2年 秋1期	選択
		生物学各論Ⅰa	0652601	講義	1	2年 秋1期	選択
		生物学特論ⅩⅤ	0655450	講義	1	2年 春1期	選択
		生物学特論ⅩⅥ	0655460	講義	1	2年 春2期	選択
	専門 基礎 科目	基礎遺伝学Ⅰ	0653710	講義	2	2年 春1期	選択必修
		基礎遺伝学Ⅱ	0653720	講義	2	2年 春2期	選択必修
		基礎遺伝学Ⅲ	0653730	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		基礎生物物理学Ⅰa	0653811	講義	1	2年 春1期	選択必修
		基礎生物物理学Ⅰb	0653812	講義	1	2年 春2期	選択必修
		基礎生化学Ⅰa	0653911	講義	1	2年 春1期	選択必修
		基礎生化学Ⅰb	0653912	講義	1	2年 春2期	選択必修
		基礎生化学Ⅱa	0653921	講義	1	2年 春1期	選択必修
基礎生化学Ⅱb	0653922	講義	1	2年 春2期	選択必修		
基礎生化学Ⅲa	0653931	講義	1	2年 秋1期	選択必修		

区分	授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別		
					開講時期	必修・選択	
生命 理 学 科	専 門 基 礎 科 目	基礎生化学Ⅲb	0653932	講義	1	2年 秋2期	選択
		基礎生理学Ⅰa	0654011	講義	1	2年 春1期	選択必修
		基礎発生学Ⅰa	0654111	講義	1	2年 秋1期	選択
		基礎発生学Ⅰb	0654112	講義	1	2年 秋2期	選択
		基礎細胞学Ⅰ	0654210	講義	2	2年 春学期	選択必修
		基礎細胞学Ⅱ	0654220	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		基礎生物学演習Ⅰ	0654310 0654311 0654312 0654313	演習	2	2年 春学期	必修
		基礎生物学演習Ⅱ	0654320 0654321 0654322 0654323	演習	2	2年 秋学期	必修
地 球 惑 星 科 学 科	専 門 科 目	地質学実験	0660100	実験	2	2年 通年	必修
		フィールドセミナーⅠ(地球科学野外巡検)	0660500	演習	3	2年 通年集中	必修
		地質調査	0660601	演習	8	2年 秋集中 3年 春集中	必修
		生態学Ⅰ	0669510	講義	2	2年 秋学期	選択
	専 門 基 礎 科 目	地球惑星数学及び演習	0660310	講義及び演習	2	2年 春学期	必修
		大気水圏科学基礎	0662620	講義	2	2年 秋学期	必修
		地球惑星化学Ⅰ	0665410	講義	2	2年 春学期	必修
		地球惑星物理学概論	0665520	講義	2	2年 春学期	必修
		地球生物学	0665610	講義	2	2年 春学期	必修
		岩石学	0666010	講義	2	2年 春学期	必修
		地球惑星物理学実験Ⅰ	0666120	講義及び実験	3	2年 秋学期	必修
		地質調査法	0666200	講義	2	2年 秋学期	必修
		構造地質学	0668730	講義	1	2年 春1期	必修
		地球環境学	0668900	講義	2	2年 秋学期	必修
		地球惑星科学の最前線	0665010	講義	2	1年 春学期	選択
		地球環境セミナー	0665100	演習	1	1年	選択
		テクニクス	0665210	講義	1	2年 春2期	選択
		地球惑星物理学基礎	0666210	講義	2	2年 春学期	選択
		熱力学基礎	0666220	講義	2	2年 秋学期	選択
		地球ダイナミクス	0666230	講義	2	2年 秋学期	選択
堆積地質学	0666300	講義	2	2年 春学期	選択		
同位体地球化学	0666400	講義	2	2年 秋学期	選択		
地球内部物性論	0669710	講義	2	2年 秋学期	選択		

自然系基礎科目

授業科目	授業形態	単位数 (1学期当り)	志望学科による必修選択の別				
			数 理 学 科	物 理 学 科	化 学 科	生 命 理 学 科	地 球 惑 星 科 学 科
微分積分学Ⅰ	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
微分積分学Ⅱ	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
線形代数学Ⅰ	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
線形代数学Ⅱ	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
複素関数論	講義	2	必修	下記(注1)参照 選択必修	下記(注2)参照 選択必修	選択必修	選択必修
電磁気学Ⅰ	講義	2	選択	必修	選択必修	選択必修	選択必修
電磁気学Ⅱ	講義	2	選択	必修	選択必修	選択必修	選択必修
物理学基礎Ⅰ	講義	2	選択	P16(注1)参照 必修	選択必修	選択必修	選択必修
物理学基礎Ⅱ	講義	2	選択	P16(注1, 2)参照 ——	選択必修	選択必修	選択必修
物理学実験	実験	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
化学基礎Ⅰ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
化学基礎Ⅱ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
化学実験	実験	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
生物学基礎Ⅰ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
生物学基礎Ⅱ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
生物学実験	実験	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
地球科学基礎Ⅰ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
地球科学基礎Ⅱ	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
地球科学実験	講義	2	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修

(注 1) 微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，複素関数論のうちから6単位以上修得して下さい。

(注 2) 微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，複素関数論のうちから8単位以上修得して下さい。

理学部 自然系基礎科目コース内容

数 学

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	微分積分学 I	杉本	クラス 1～3 の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学 I	中西	
	微分積分学 II	杉本	
	線形代数学 II	中西	
II	微分積分学 I	永尾	クラス 4～6 の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学 I	中村	
	微分積分学 II	永尾	
	線形代数学 II	中村	
III	微分積分学 I	荒野	クラス 7～9 の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学 I	林 (孝)	
	微分積分学 II	荒野	
	線形代数学 II	林 (孝)	
IV	微分積分学 I	川村	クラス 10～12 の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学 I	山上	
	微分積分学 II	川村	
	線形代数学 II	山上	

物理学（1年次）

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	物理学基礎 I	寺 崎	クラス1～3の学生はこの授業を選択してください。
	電磁気学 I	石橋明	クラス1～4の学生はこの授業を選択してください。
II	物理学基礎 I	河 野	クラス4～6の学生はこの授業を選択してください。
	電磁気学 I	清水 裕	クラス5～8の学生はこの授業を選択してください。
III	物理学基礎 I	小林 浩	クラス7～9の学生はこの授業を選択してください。
	電磁気学 I	小林 義	クラス9～12の学生はこの授業を選択してください。
IV	物理学基礎 I	久 野	クラス10～12の学生はこの授業を選択してください。
	物理学基礎 II	谷 山	全クラス学生用

(注1)・物理学基礎 I および電磁気学 I・IIは物理学科の必修科目です。

・物理学基礎 IIを履修して物理学科に所属した学生は、電磁気学 I・IIを2年次に履修して下さい。

(注2) 物理学基礎 IIは高校で物理を履修していない学生用のコースです。ただし、物理学科への進学を希望する場合には電磁気学 Iを履修して下さい。

物理学（2年次）

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	電磁気学 II	石橋 明	クラス1～6の学生はこの授業を選択してください。
II	電磁気学 II	清水 裕	クラス7～12の学生はこの授業を選択してください。

化 学

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	化学基礎 I	伏 谷	クラス1～4の学生はこの授業を選択してください。
	化学基礎 II	谷	
II	化学基礎 I	柳 井	クラス5～8の学生はこの授業を選択してください。
	化学基礎 II	斎 藤	
III	化学基礎 I	邨 次	クラス9～12の学生はこの授業を選択してください。
	化学基礎 II	八 木	

生物学

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	生物学基礎 I	岩 見	高校で深く生物を学んでいない学生はなるべくこの授業を選択してください。
	生物学基礎 II	多 田	
II	生物学基礎 I	木下 (俊)	高校で深く生物を学んだ学生はなるべくこの授業を選択してください。
	生物学基礎 II	久 本	

地球科学

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	地球科学基礎 I	渡邊/中川	クラス 1～6 の学生はこの授業を選択してください。
	地球科学基礎 II	道林/高橋/持田	
II	地球科学基礎 I	藤田/並木	クラス 7～12 の学生はこの授業を選択してください。
	地球科学基礎 II	高橋/道林/持田	